

## 木曾町地域公共交通総合連携計画

○総合連携計画の策定年月日 平成20年5月30日

○総合連携計画の区域 木曾町及び王滝村

○基本的な方針

木曾町生活交通システムの永続的な維持のために、現在抱えている諸課題に対し、利用促進を軸とした各種事業を実施し、交通システムを活性化させる。

○総合連携計画の目標

- ①；町民および観光客へ対して、バスの広報・PR運動を行うことで公共交通の利用促進を図る。
- ②；①により運賃収入の向上を図るとともに、利用者負担をできるだけ抑えたなかで、最も収益性が見込める運賃体系を検討し、極力早い段階に移行する。
- ③；事業費を現行枠内に抑えながら、運行体系の効率化やきめ細かいダイヤやルート設定などによりサービス内容の向上を図る。
- ④；利用促進を図るための有効な手段として、時刻表掲示システムの改良を行う。
- ⑤；ダイヤ改正および事業費算定の作成システムなどを整え、年度更新作業に掛かる作業の省力化を図る。
- ⑥；以上により、木曾町の交通システムを永続的に維持可能なものとしていく。

○事業及び実施主体

○事業及び実施主体

- ①広報・PR事業（実施主体：木曾町地域公共交通協議会）
- ②運行内容改善事業（実施主体：木曾町地域公共交通協議会）
- ③バス停時刻表掲示システム改良事業（実施主体：木曾町地域公共交通協議会）

○その他連携計画の実施に関し必要と認める事項

## 木曾町地域公共交通協議会

設置年月日：平成20年5月30日

構成員：木曾町、おんたけ交通(株)、おんたけタクシー(株)、木曾交通(株)、4地域自治組織、住民代表(一般公募)、長野県交通政策課、県地方事務所、県立木曾病院、木曾警察署、木曾町観光協会、木曾町小中学校長会、JR東海(株)、王滝村、道路管理者、北陸信越運輸局長野運輸支局

(計画事業についての概要図、写真等を載せて下さい。スペースが不足する場合は別葉にさせていただいても結構です。)

### ラッピングバス関連イベント



### マイ時刻表

**バス利用のご案内**

●普通運賃  
 前期バス 200円/個  
 前期バス 100円/個  
 乗継券割引あり、小学生、障害者等は半額

●回数券  
 2500円券 50円券55枚綴り  
 5000円券 100円券55枚綴り

※乗継券は、上野中央駅に運賃箱にお入れください。  
 ※乗継券は、上野中央駅に運賃箱にお入れください。  
 ※バス運行に関するお問い合わせ先  
 おんたけ交通(株) 22-4144  
 ●その他お問い合わせ先  
 木曾町役場企画財政課 22-4287

**木曾町生活交通システム**

**My 時刻表**

行先	行き	乗継ぎ	降り	乗継ぎ
木曾病院	08:06⇒08:51		12:36⇒13:24	開田支 1327
	08:40⇒10:38	開田支 10:05	13:36⇒16:03	開田支 1425
	11:10⇒12:05	開田支 11:27	14:41⇒15:34	
管示	行き	乗継ぎ	降り	乗継ぎ

赤字：土日祝日運休

### CATV番組制作



# 木曾町地域公共交通活性化・再生総合事業（計画事業 最終年度）の概要

## 平成22年度事業実施概要

### 検討の経緯

#### ■22年6月：第1回協議会

- ・平成22年度事業計画案及び予算案審議
- ・幹事会、分科会の設置
- ・今年度の利用促進計画について協議

#### ■22年9月：利用促進検討分科会

- ・交通不便者予備軍の取り込みについて
- ・各種制作物の進捗について
- ・イベントの企画立案について

#### ■22年9月：運行・運賃検討分科会

- ・デマンド乗合タクシーについて
- ・バスの路線、ダイヤについて
- ・運賃について

#### ■22年12月：第2回協議会（予定）

- ・現時点における課題と今後の対応
- ・今年度の利用促進の実施報告

#### ■23年2月：第3回協議会（予定）

- ・ダイヤ改正について
- ・利用促進事業の実施報告
- ・次年度事業について

## 事業実施状況及び今後の展望

事業名：広報・PR事業

- <実施主体> 木曾町地域公共交通協議会
- ・CATV番組の制作  
(7月24日～30日、11月6日～12日放送)
  - ・マイ時刻表の作成
  - ・木曾町バス路線図マップの作成
  - ・ラッピングバス及びイベント開催



### 【実施結果・成果等】（評価項目Ⅲ①）

利用促進による年間利用者数毎年3%増は達成できなかったが、実施前の平成19年度の利用者数192,846人に対し平成21年度の利用者数は215,651人と1.8%増を達成することができた。料金収入の向上では平成19年度の運賃収入が26,964,410円に対し平成21年度は31,394,223円となり4,429,813円の増額となっている。

### 【評価・問題点の把握】（評価項目Ⅳ1①）

問題点及び利用者からの苦情要望については協議会、幹事会等で協議している。全体として利用者は増加傾向にあるが、路線によっては利用者数が伸び悩み、こうした課題に対する検証は必要と考えている。今後発生する問題点とあわせ幅広く検証とその対応策を協議したい。

### 【本格実施への環境整備】（評価項目Ⅳ2①②）

各種利用促進策を行ったことにより利用者数も増加傾向にあり、木曾町生活交通システムが徐々に住民に浸透していると思われる。しかし依然マイカー利用者も多いため、さらなる利用促進策が必要である。今回の利用促進事業によりその基礎を築くことができた。

事業名：運行内容改善事業

- <実施主体> 木曾町地域公共交通協議会
- ・前年度のアンケート結果及び住民要望から運行内容の検討協議
  - ・ダイヤ改正



### 【実施結果・成果等】（評価項目Ⅲ①）

利用促進による年間利用者数毎年3%増は達成できなかったが、実施前の平成19年度の利用者数192,846人に対し平成21年度の利用者数は215,651人と1.8%増を達成することができた。料金収入の向上では平成19年度の運賃収入が26,964,410円に対し平成21年度は31,394,223円となり4,429,813円の増額となっている。

### 【評価・問題点の把握】（評価項目Ⅳ1①）

問題点及び利用者からの苦情要望については協議会、幹事会等で協議している。ダイヤ改正の折に利用者の意向を反映するよう努力しているが、改正するとまた別の利用者から苦情要望があり、全ての利用者を満足することはできないがより多くの利用者が満足できる運行内容を検討したい。

### 【本格実施への環境整備】（評価項目Ⅳ2①②）

バス路線及びダイヤが住民に定着してきており、利用者が増加傾向にある一因となっている。さらなる利用促進を進める上でも、利用者の立場で運行内容を検証し運行内容の改善を進めたい。

# 木曾町地域公共交通活性化・再生総合事業（計画事業 最終年度）の概要

## 前年度二次評価結果等に係る事業の概要

### 二次評価における主な指摘事項

「広報・PR事業」と「運行内容改善事業」の実施によりさらなる利用促進を推進する。

利用者アンケート結果および住民要望の反映

### 二次評価に係る主な事業実施状況

・利用促進事業により、CATV番組の制作、マイ時刻表および木曾町バス路線図マップの作成、ラッピングバスの活用を具体的実施し、利用促進事業が推進できた。

アンケート結果および利用者からの要望から運行内容について協議。検討結果をダイヤに反映させた。

## 今年度事業のポイント

### 地域住民・利用者の意見を反映させた点

（地域住民の意見がどのように反映されたか記載して下さい。）

- ・バス路線図はあったが実際の地形図を使用したバス停マップの要望に対し、木曾町バス路線図マップを作成。（配布は平成23年2月から）
- ・バスの仕組みが良く分からないという意見に対し、バス利用の仕方や路線を紹介するCATV番組を制作。放映した。

### 協議会及び各構成員が特に工夫して取り組んだ点

- ・ラッピングバスを使ったイベントを企画する際に、地元の保育園を利用することを検討。保育園児が実際にバスに乗る体験乗車ツアーや写生会を開催し、園児が描いたバスの絵をバス車内に展示。ラッピングバスのPRとともに利用促進効果もあった。
- ・CATVのバス紹介番組を制作するにあたり、どのような内容の番組にしたら住民に見てもらえるか、番組制作サイドとも協議を重ね、バスの乗り方、料金の仕組み、支払い方法、実際のバス利用者へのインタビューを取り入れ、親しみやすい番組を制作した。